



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (22) 7207 番

93.12.14 3911

国鉄労仲運動の主流派へ!!

12.6 一回 定期大会 郵労総連言

二月六日、千葉県労働者福祉センターにおいて第八回労働総連定期大会が開催された。大会は、「二・五清算事業団闘争勝利、全国労働者集会」の成功を受け、意気高くかちとられた。

大会は、辻川副委員長が「われわれこそ正しい労働運動を行なっている。他労組が屈服するなかで組織拡大かちとり、国鉄労働運動の主流派を目指そう」と開会を宣言、議長には、総武支部・吉野書記長が選出され、議事が進行された。

続いて挨拶にたった水野委員長は、「裁判・地労委闘争は勝利的に展開され、現在高裁・中労委に舞台が移された。原職復帰の闘いも、高崎、水戸において一定の前進をかちとりつつある。大量失業時代を迎え、われわれの真価が問われている。解雇撤回の闘いを全力で担い、労働運動の再生をかちとろう」と訴えた。

経過報告の提起、方針案、予算案の提起を受け、各地方の代議員より活発な討論を受けた。
質疑では、各地方よりJR総連・JR連合をはじめ他労組が闘いをまったく放棄するなかで、各職場で奮闘している報告がなされるなど、教訓となる発言が相次いだ。
続いて方針案・予算案について満場一致で採択、それを受けスト権投票がなされ一〇〇%で確立、新役員を選出し、大会は圧倒的 성공をかちとった。

われわれは、結成の理念である郵労大改革運動を全力で推し進めなければならない。年末闘争を全力で展開し、全国に打って出よう

大会で出された主な意見

千葉 一・三〇一―二・一ストを全組合員の決起でかちとった。支社は、二月ダイヤ改提案に際し、新動乗動に違反する交番を提案したり、ダイヤ改移後、営業でも提案と違った勤務種別を現場において提示するなどまともな業務遂行能力さえなくなっている。解雇撤回に向けた闘いの山場を迎え全力で闘う。

水戸 職場では、まともな労働運動を闘う組合は郵労総連合しかなくなっている。運転士も折り返し時間が一分しかないという仕業があり、日常的にまともな折り返し準備が出来ないうちに列車を発車させている。高崎の組合員は列車の遅れは遅れとしてきちつと折り返し準備を行なっているとのこと、見習うべきだ。検修職場でも、車両係が技術係の業務を行なうよう作業ダイヤが組まれた。職場では、そんな作業ダイヤを許さないと闘ってきた。二月ダイヤ改に際し、国労も大筋了解とした。現場では、国労組合員が国労方針に不信を持っている。

西日本 ポスが導入され、マニユアルどうり業務すると残業を余儀なくされ、他労組の組合員は、日常的に残業続きである。駅でイベ

ント列車を設定するが乗客が集まらず、社員がその切符を買い、休みをとりイベント列車の乗客となっている。

地方大会で、組合員同士で徹底的な議論を行い、組織拡大のため全力で職場闘争を行なうことを決意した。

高崎 人活扱いの列車洗浄業務から運転士となった。久しぶりにハンドルを握ると、労働条件が凄まじく強化されたこと実感する。高崎では、地方交通線の廃止計画が相次いでいる。地交線廃止反対の闘いを全力で行ないたい。

水戸の発言にもあったが、折り返しの際の遅れは遅れとしてホームで走るなどというものはやめるべきだ。また、濃霧時で列車が遅れても乗客は理解を示す、無理に定時運転をする必要はない。今後の合理化を考えた時、日常的に当たり前のことは当たり前のこととして取り組もう。

千葉 構内業務の外注化など合理化が予想される。各労組の闘いに学び頑張っていく。

一月三〇日、国鉄闘争勝利葛飾集会所が開催され、勤務以外の組合員が全員結集した。地域集会所も二月に予定されている。貨物の格差賃金は断じて許せない。分割・民営化体制を許さず闘う。

職場で東労が鉄産労批判を掲示し、泥試合となっている。ストの立ち上がりの際に行なった当局への抗議行動に際し、東労がわれわれを双眼鏡で監視するなどという挑発を行なった。許せない。



選出された新役員

執行委員	小川正哉	西日本
同	石井真一	水戸
会計監査	岡田広重	高崎

12.15
中央阻止絶対区学選小
集会 - 東京三河台公園
ちば. 16.44 快

12.19
印共日本東共印解放者部
集会 結成一周年集会
13時から
小岩コミュニティホール

郵労大改革運動を推し進めよう!!

反合・運転保安確立! 反戦・反核を担う労働運動を!